りゅうおう
議会だより
No.163
2013. 5. 1
RYUOH
編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713（直通） ㈲58-3713

竜王西小学校入学式

- 平成25年度竜王町予算 …… 2～3
- 条例関係、補正予算 …… 4～5
- 各委員会報告 …… 6～8
- 一般質問 …… 9～14

いきいき人生　福山　勇さん …… 14

パーク滋賀竜王（第Ⅱ期工事 夏頃完成）

竜王中学校体育館（本年度屋根改修予定）

平成25年第1回定例会は、3月5日から26日までの22日間の会期で開かれました。

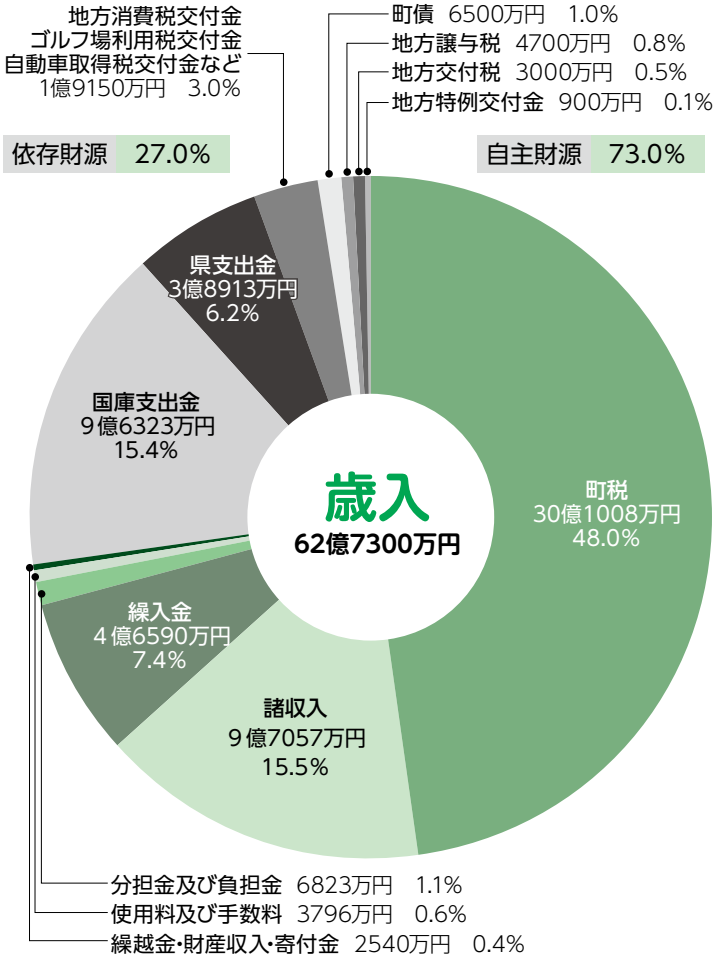
提出された議案は、条例関係16件、平成24年度補正予算関係8件、平成25年度予算関係8件、意見書2件、人事案件2件、その他6件および議員提出の条例改正1件でした。（条例の制定・改正は4～5頁に関連記事があります。）

平成24年度一般会計補正予算は、11億8569万5千円増額し、総額66億7695万6千円になりました。

平成25年度予算は、一般会計については予算第1特別委員会、特別会計については予算第2特別委員会を設置し集中審査を行いました。

大型予算

会計の内訳



法人町民税が前年度より55%増加

平成25年度の一般会計と特別会計・公営企業会計を合わせた予算総額は、94億323万円。一般会計は62億7300万円で前年度比31・0%、14億8600万円の増額となりました。

前年度に比べ大きく伸びた要因は、（仮称）竜王岡屋工業団地の整備に向けた事業に着手するため、約15億円を当初予算に計上したことによるものです。

平成25年度竜王町の予算

（△は減　単位：万円、％）

会計名			平成25年度当初予算額	平成24年度当初予算額	前年度比較 増減額	前年度比較 増減率
一般会計			62億7,300	47億8,700	14億8,600	31.0
特別会計・企業会計	国民健康保険事業（事業勘定）		10億5,820	9億7,760	8,060	8.2
	国民健康保険事業（施設勘定）	医科	8,360	8,860	△500	△5.6
		歯科	4,980	5,440	△460	△8.5
	学校給食事業		5,800	6,100	△300	△4.9
	下水道事業		6億4,160	6億3,270	890	1.4
	介護保険		6億9,580	6億6,490	3,090	4.6
	後期高齢者医療		8,220	8,170	50	0.6
	水道事業	3条	3億2,427	3億0,027	2,400	8.0
		4条	1億3,675	1億6,554	△2,879	△17.4
	計		31億3,022	30億2,671	1億0,351	3.4
総額			94億0,322	78億1,371	15億8,951	20.3

三井アウトレット

一般会計14年ぶりの

●平成25年度一般

主な事業

1.豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり

○公共施設再生可能エネルギー等導入事業　4,215万円
○文化財調査事業　2,555万円

2.みんなが安心して暮らせるまちづくり

○介護保険事業計画等作成事業　392万円
○子ども・子育て支援事業計画策定事業　323万円
○小中学校児童生徒生きる力育成事業　447万円
○町防災計画策定業務　1,020万円
○道路橋梁維持補修費　3,673万円

3.チャンスを活かすたくましいまちづくり

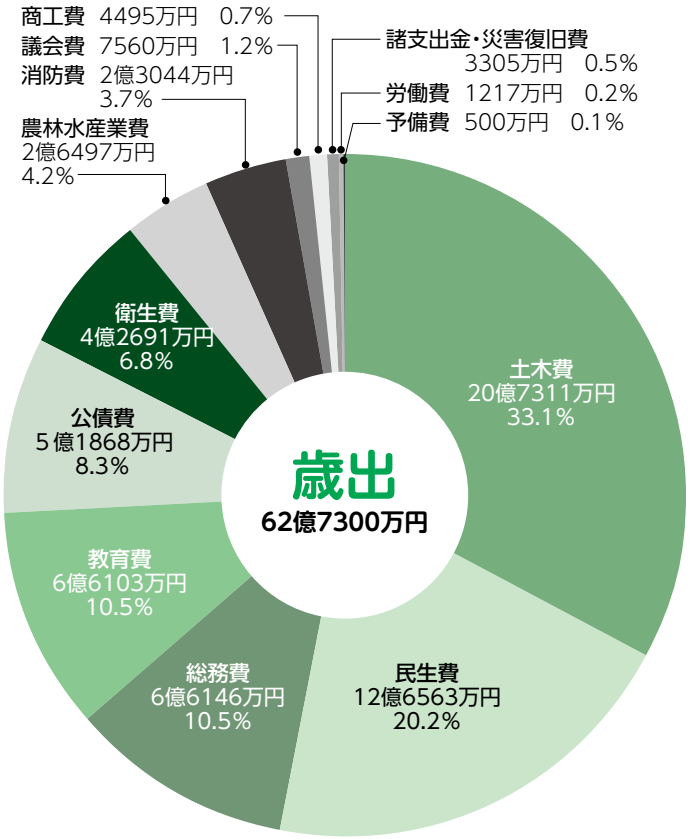
○定住促進住宅リフォーム助成事業　1,000万円
○竜王インター周辺地区整備事業　15億0,591万円
○篠原駅周辺都市基盤整備事業　1,583万円

4.町民と行政との協働により築くオリジナルのまちづくり

○ふるさと竜王夏まつり事業　250万円
○まちづくり活動支援事業　100万円

5.その他

○公図閲覧システム導入事業　334万円
○勤労福祉会館管理費　311万円



平成25年第1回定例会報告〔条例関係〕

（上段：条例名　下段：主な内容）

制定または改正された条例	結果
・竜王町公告式条例の一部を改正する条例 条例の公布等を行っていた町内８カ所の掲示場を総合庁舎１カ所とするため改正。(平成25年9月1日から) 	可決
・竜王町課設置条例等の一部を改正する条例 行政組織機構の見直し、(仮称)竜王岡屋工業団地推進に特化した「工業団地推進課」の設置等に伴い改正。	可決
・竜王町新型インフルエンザ等対策本部条例 国において新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされた場合、市町村長は対策本部を設置することとなったため、これの設置のための条例を制定。	可決
・竜王町障害者自立支援条例等の一部を改正する条例 障害者自立支援法の一部改正等を受け、関係する町の条例を改正。	可決
・竜王町学童保育所の設置および管理に関する条例 竜王小学校区の学童保育所が竣工することに伴い、設置および管理のための条例を制定。	可決
・竜王町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準を定める条例 **・竜王町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備および運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例** 国が定めていた指定地域密着型サービスおよび介護予防サービスの施設基準等を、市町村の条例で定めることとなった。	可決
・竜王町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例 国が定めていた地域密着型介護老人福祉施設の入所定員および地域密着型サービス事業者等の法人格等に関する要件を、市町村の条例で定めることとなった。	可決
・竜王町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 道路の占用許可対象物件として、太陽光発電設備等を追加するため改正。	可決
・竜王町法定外公共物管理条例の一部を改正する条例 法定外公共物の使用物件に、太陽光発電設備等を追加するため改正。	可決
・竜王町都市公園条例の一部を改正する条例 国が定めていた都市公園に関する基準を、市町村の条例で定めることとなった。	可決
・竜王町道路構造に関する技術的基準を定める条例 国が定めていた道路構造に関する技術的基準を、市町村の条例で定めることとなった。	可決
・竜王町町道に設ける道路標識の寸法を定める条例 国が定めていた道路標識の寸法を、市町村の条例で定めることとなった。	可決
・竜王町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく移動等円滑化のために必要な道路の構造等に関する基準を定める条例 国が定めていた特定道路の構造基準・特定公園施設の設置基準を、市町村の条例で定めることとなった。	可決
・竜王町下水道条例の一部を改正する条例 国が定めていた公共下水道の構造に関する技術上の基準を、市町村の条例で定めることとなった。	可決
・竜王町布設工事監督者の配置および資格ならびに水道技術管理者の資格を定める条例 国が定めていた水道技術者の資格基準等を、市町村の条例で定めることとなった。	可決

平成24年度一般会計補正予算の主な内訳

（単位　千円）

歳入補正予算の主なものは	
法人町民税	742,578
地域の元気臨時交付金	218,790
社会資本整備総合交付金	203,542
竜王インター周辺地区整備協力金	106,930
中学校体育館大規模改造事業債	162,800
財政調整基金繰入金	△250,000
固定資産税	△76,421

歳出補正予算の主なものは	
まちづくり交付金事業（仮称）竜王岡屋工業団地分	532,363
竜王中学校体育館改修工事	200,837
防災情報通信設備整備事業	20,727
財政調整基金積立金	538,297

平成24年度一般会計補正予算

主な質疑応答

問　竜王中学体育館は夏場大変暑いが、改修工事においてはどのような対策がとられるのか。

答　今ある屋根の上に断熱材を施工し、その上に新しい屋根を載せることで、直射日光をかなり遮ります。また、屋根の裏側にも断熱材を吹きつけるため、断熱に富んだ構造となります。外壁の窓はスチールサッシからアルミサッシに変え、上側の窓は開閉可能で通風ができるようになります。

（全員賛成で可決）

第六次竜王町国土利用計画を定めることについて

主な改訂の内容

第五次国土利用計画土地利用構想においては、竜王インター周辺を自然環境と調和したレクリエーション用地として位置づけていたが、希望が丘団地北側の区域については、構想計画を変更し森林区域に変更する。

（仮称）竜王岡屋工業団地の区域についてすべて宅地だったが、森林および自然環境の保全の観点から、構想計画を変更し、保安林の部分を宅地区域から森林区域に変更する。

主な質疑応答

問　希望が丘団地北側のレクリエーション用地は一旦森林に戻せば、その後、変更するのが大変である。再検討ができるのは平成32年になることから、そのままで置いておくことはできないのか。

答　当時レクリエーション用地としてのエリアでしたが、経過の中から、当該地については、かつてはオオタカの営巣地さらには砂山北古墳群であることから、事業者においても事業計画から外されたということと、現段階では新たな計画は見込めないため、町としては事業者の考えや環境面から、森林区域に変更するものです。

経済伸展の変化に合わせ、いろいろな形で展開ができる可能性があるなら、そのチャンスを活かせるよう、平成32年まで待たずに変更することも視野に入れ、対応していきます。

（全員賛成で可決）

竜王町都市公園条例の一部を改正する条例

改正の内容

政省令の基準を参酌して都市公園の配置および規模の基準等を定めるものです。また、都市公園施設の利用の規定については、都市公園内における行為の禁止を規定する第5条に「公の秩序または善良な風俗を乱すおそれのある行為をすること。」を第12号として追加する一部改正を行うものです。

主な質疑応答

問　運動公園内にある採暖室に刺青をした人の入浴を断る表示が可能となるのか。

答　弁護士との相談の結果では、この規定の追加が一定の刺青行為などをされている人に対して踏み込んだ対応ができる根拠となるということでした。一定周知期間後に「刺青等をされた人の入浴はご遠慮ください」など、お断りする表示が可能となると判断します。

（全員賛成で可決）

採暖室内の様子

総務産業建設常任委員会

視察研修

福井県永平寺町を訪れ、永平寺町松岡西野中地区における地区計画の事業推進の経過について説明を受け、先進地事例を学びました。

地区計画地での視察（福井県永平寺町にて）

永平寺町は平成18年2月に松岡町、永平寺町、上志比村の3町村が合併し現在に至っています。地区計画が行われた旧松岡町は福井市より約10キロ東側に位置し、福井市へ就職や通勤等での繋がりが深く、都市計画においても福井都市計画区域となっています。

この地区計画地は、既存集落の隣に新規開発されました。総面積は1.2haで、19区画の宅地および1区画の公園となっています。

主な質疑応答

問　地区計画のエリアはどのように決められたのですか。

答　最初は1.2haの新規開発のみで西野中地区に話を持ちかけました。しかし、既存集落内の道路が幅員4mを切る所もあったため、この際、既存集落内の道路拡幅を含め地区計画として進めました。

問　地区計画を推進するにあたり特にこだわったことはありますか。

答　宅地内での家庭菜園等の推進と、安価な販売価格の設定です。

最低敷地面積が300㎡と広いため、家屋ともあわせて全体で2500万円程度、土地分譲価格を坪当たり5万円から6万7千円に設定、近くの団地に比べ約3分の1程度の安価となり、販売開始後2ヵ月で完売できました。

問　分譲地1.2haの事業費はいくらかかりましたか。

答　造成費は道路、上下水道工事等を含め約1億300万円程度でした。土地購入費が別途300万円で、用地取得には地元に協力いただいて坪当たり1万円でした。

他に委託業務費や宣伝費もあわせ1億6000万円の総事業費となりました。

町では定住支援事業として一戸当たり50～70万円の定住支援金や引っ越し費用の限度額15万円の負担、農業排水処理場の分担金40万円の免除、上水道の加入負担金について口径20㎜で5万円の免除、18歳未満の子ども一人当たり10万円の支援も行っています。

教育民生常任委員会

視察研修

愛知県東海市しあわせ村を訪れ、いきいき元気推進事業の取り組みについて説明を受けました。

東海市民の健康状態を見たとき、平均寿命が低く、生活習慣病患者が多い、健康意識が低いなどの傾向があり、東海市民の将来に不安を抱いた市長が、健康づくり・生きがいづくり事業を推進するよう指令を出されました。

全庁的な取り組みとするため、企画政策課内にいきいき元気推進担当を配置し、さまざまな部署からの委員でいきいき元気推進委員会を構成し、推進プランを作成されていました。委員会活動は委員全員参加、委員の主体性重視、課の垣根を超えた連携によるベストミックスが展開のポイントとなっていました。

このプランをもとに始まった事業は、市からの押し付けではなく、紹介することで周知の輪を広げていく方針で、運動応援メニュー・食生活応援メニューと称した個人に合ったきめ細かな指導をされていました。

また、医師会との連携やトレーニング施設、いきいき元気メニュー取扱店など企業や市内のレストラン等とも連携がなされていました。

竜王町の療育事業

本町では、発達に支援の必要な子をもつ家族のみなさんのために、早い段階からの療育の場として、竜王町直営で行っている親子療育「どれみ」、また近江八幡市へ委託をしている早期療育「ひかりの子」の2教室があります。

親子療育「どれみ」は、比較的軽度な子どもが対象で、月1～2回、早期療育「ひかりの子」は、中・重度の子どもが対象で、週1～3回の教室を開いており、いずれも対象年齢は1歳半から3歳までとなっています。

このたび、発達相談や親子療育教室等における子どもの成長過程や、親の状況などの情報が途切れることなく、保健師や療育担当者等と共有でき、適正な支援が行える等の理由から、平成25年度を準備期間とし、平成26年度から竜王町で療育事業を単独実施していく旨の説明を受けました。

主な意見

平成25年度は準備をしていくということだが、県の認可や保育士の雇用、また、療育プログラムの作成など課題が山積である。自立のまちを目指していくなら、応急的なことも必要だが将来的な展望も示せるよう努力されたい。

健康づくりについて熱く討議（愛知県東海市にて）

竜王町の健康づくり

竜王町の健康課題ならびに保健師活動として、妊娠・乳幼児・学童期、青・壮年期、高齢期と3つのライフステージに分けたさまざまな保健事業の展開について、また第2次健康いきいき竜王21プランの概要説明を受けました。

本町においては、特定健診の受診率が目標値には届かない数値であること、また医療費は年々増加傾向にあるため、住民の健康意識を高めることはもとより、特定健診の受診勧奨も推し進めなければなりません。

こうした状況の中で、第2次健康いきいき竜王21プランにおいては、健康づくりの重点プロジェクトとして、「てくてく健康プロジェクト」、「ぱくぱく野菜健康プロジェクト」、「わくわく健康まつりプロジェクト」の3本柱を中心に住民の健康を考え、課を超えた全庁的な取り組みを実施することを目標としているとの説明を受けました。

主な意見

全庁的な取り組みも非常に重要だと考えるが、企業へも出向き、竜王町が一丸となって健康づくりに取り組めるよう努力されたい。

地域活性化特別委員会

（仮称）竜王岡屋工業団地の整備・推進概要について

一．事業概要について

①岡屋交差点は、竜王IC側から流入する右左折1車線を、右折1車線・左折1車線の2車線に分離し、片側歩道を新設する。

②祖父川大橋は、岡屋交差点改良に伴い、現橋に隣接して、左折1車線および片側歩道の新設を行う。

③竜王IC南交差点改良工事。

④上・下水道、工業用水のライフラインの整備。

⑤排水整備は流域ごとに防災調整池を設置、雨水量調節のうえ、1号調整池は祖父川流域に、2号調整池は中ノ川流域にそれぞれ放流する。

二．社会資本総合整備計画事業について

道路・下水道整備事業と都市再生整備事業を行う。都市再生整備計画事業では、国道477号の歩道設置、地方道・町道の整備、多機能グラウンドやため池整備等の基幹事業、また、工業団地利活用調査、上水・工業用水等の提案事業があります。

雪国まいたけについて

カット野菜の増産計画では、増築工事を進め6月中に本格稼働する予定です。

農工計画の変更については、3月上旬に本申請。

（仮称）竜王岡屋工業団地予定地での視察

視察研修

和歌山県橋本市を訪れ、「企業誘致活動について」説明を受けました。

橋本市は南海電鉄高野線、JR和歌山線の沿線に位置していて、大阪への通勤圏となっています。かつて南海電鉄による住宅団地開発が盛んに行われていましたが、景気の動向もあり、南海電鉄より譲り受けた山林を工業用地に開発し、企業誘致を市長自らのトップセールスにより活発に行っているとのことです。

企業誘致の特徴は、

一．企業訪問をする相手先を選別するのに東京橋本会を設立し、その事務所を拠点に1万社へのアンケートを実施し、回答のあった所から有望企業にアタックしている。

二．企業訪問する際は、常に2名体制で実施。1年間に訪問した会社は400社を超えている。

三．大阪は50km圏内にあり、地盤が強固で津波、原子力発電所からも100km以上離れた場所にある立地を売りにしている。

四．周辺には大規模住宅団地があり、市の中心部より橋本市民病院を移築、高校も誘致しており、橋本北消防署も新たに開設している。

議会基本条例推進特別委員会

視察研修

兵庫県加古郡播磨町議会を訪れ、先進地事例を学びました。

我々竜王町議会は住民に開かれた議会をめざし、平成23年6月に「議会基本条例」を制定、現在議会改革に向け「議会基本条例推進特別委員会」を設置し、取り組んでいるところです。

基本条例の制定は、よりよい住民自治を実現するために行政の監視役として議員自らが研鑽を積み、議会が活発な議論の場となること、またそれが住民の意見を反映させるものとなることが重要です。

昨年度の議会報告会

播磨町議会では、平成21年4月に「議会基本条例検討特別委員会」が設置され、平成22年11月までの1年8カ月の間に19回の委員会を開催され、議論を重ねて作りあげられたとの報告を受けました。

一．議会基本条例については、議会の活動原則で政策立案と条例制定等を行うとされており、これまでに「議員政治倫理条例」、「まちをきれいにする条例」を提案し施行されています。また議会議決についてはライブ中継や、議会ホームページで公開されており、議会広報、年2回開催される議会報告会および本会議・委員会の公開などで住民への説明責任を果たされています。

二．議会報告会については、「議会報告会実施要領」を議会運営委員会で定め、定例会終了後3カ月以内に1年2回の割合で開催されています。また、10名以上の団体からの要請があれば、随時報告会を開催するとされています。

議会改革について

一．通年議会の適用について

・行政の長における専決処分の乱用防止というメリットはあるが、通年議会にすべき大きなメリットが見当たらない。

二．今後の当委員会の取り組みについて

・議会のIT化を行う。たとえば、議案書のデータベース化による議案書の配布等を検討。

・情報源として、本会議へのタブレット端末等の持込の可否を検討。

・各委員会の委員長手当を検討。

・条例等の議会提案。

・議会報告会の開催要領を検討。

議会報告会を開催します

日　時：平成25年5月22日（水）19：30～
場　所：竜王町公民館
テーマ：平成25年度
　　まちづくり事業について

みなさんの声を町政に届けます

一般質問

9議員が14問

①将来目標人口到達への具体的な取り組みについて	小森　重剛議員
②橋梁長寿命化修繕計画と防災・減災の関連について	古株　克彦議員
③当町と地元企業との協働について	松浦　　博議員
④町民の健康増進に向けた取り組みについて	貴多　正幸議員
⑤定住促進について	山田　義明議員
⑥竜王町地域福祉計画について	内山　英作議員
⑦三井アウトレットパークと竜王町の観光振興について	西村　公作議員
⑧安全・安心なまちづくりに向けて 日野消防署南出張所を竜王出張所に	岡山　富男議員
⑨アグリパーク竜王の駐車場等について	竹山　兵司議員

小森　重剛議員

将来目標人口到達への具体的な取り組みについて

着実に、粘り強く各施策を実行することが、人口増につながると確信しています。

問　平成23年3月に「第五次竜王町総合計画」が策定され、10年後の平成32年度の目標人口を14000人に設定され、目標到達の対策・受け皿づくりとして2段階のステップを掲げ取り組んでいる。

策定後、2年が経過した現在までの成果と、今後の取り組みについて伺う。

答　ステップ1「未活用資源の活用」については、

①鏡北部地域の新規住宅団地の活用では、地権者との調整から未実施であり、地区計画を策定し、早期に事業実施されるよう要請していきます。

②空き家対策では、今後、空き家の有効活用について情報を整理し、町内外への情報発信に努めます。

ステップ2「新たな受け皿づくり」については、

①市街化区域周辺の活用として、小口、山之上、鏡エリアに集合住宅の誘導を掲げています。

小口地先では、民間による集合住宅が建てられ、入居率も高く、さらにこの周辺地域での可能性を探っていきます。

山之上地先においては、新規住宅地確保のために、具体的な計画を示し、地元ならびに関係者に働きかけていきます。

鏡地先についても、引き続き調査検討を進めます。

②集落周辺における地区計画の活用では、小口地先と庁舎周辺タウンセンターエリアをひとつとして、地区計画の策定を検討研究していきます。

IBMグラウンド跡地

古株　克彦議員

橋梁長寿命化修繕計画と防災・減災の関連について

修繕工事実施設計により適正執行に努めます。

問　竜王町では、40年以上経過した橋が半数近くあり、平成25年度より、古い橋から長寿命化修繕計画が実施される。

①25年度対象の薬師橋、小口橋、岳川橋はどのような延命工事をするのか。

②地元自治会の要望を聞くのか。

③集中豪雨による橋に係る防災・減災対策をどのようにとるのか。

答　本町では81橋を管理し、平成21年度から橋梁点検を行い、22～23年度に「竜王町の橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。策定の目的は「道路ネットワークの安全性・信頼の確保」と「維持管理コストの縮減」、さらに「事業投資の適正化によるアカウンタビリティ（説明責任）の確保」にあります。

①3橋梁の延命工事の内容とその予算配分については、断面の修復・伸縮の取り替え・高欄の塗り替えを予定しています。当該年度に修繕工事実施設計を行い、その内容によっては、3橋すべてが実施できないことも考えられ、国の補助事業を活用することから関係機関との調整を図ります。

②地元自治会と事前協議ならびに工事説明会等自治会との調整会議を行います。

③橋梁の維持管理については、今後5年に一度の総点検の実施とともに日常の状況確認を行い、これまでの対処療法的な対応から計画的かつ予防的対応に転換を図ります。

祖父川にかかる小口橋

松浦　博議員

当町と地元企業との協働について

企業と連携を強め魅力ある町づくりを創造します。

問　農商工のバランスのとれた発展を目指す我が町にとって、地元企業との情報交換や「煌くまちづくり」における協働・連携をどのように行っているのか。課題の把握と解決に向けた具体的対策について伺う。

答　地元企業との情報交換は、主な事業所と町、商工会で組織する「竜王町経済交竜会」で年1回の定期的な意見・情報交換を行っています。今後は回数を増やすとか、テーマを深く掘り下げて内容の充実を図っていきます。

これ以外にも地域貢献協定や公害防止協定を取り交わしている企業とは地元自治会も交え情報交換を行っています。

「経済交竜会」では、行政からのインフラ整備の情報提供をもっとしてほしい、エネルギー対策や適正雇用の実現等の情報交換・研究の場がない、従業員の住宅がない、企業同士の結びつきに行政が間に入ってほしいなどが課題としてあがっています。

これらに対して、企業連携組織として「経済交竜会」を発展拡大することで課題解消につながるものと考えています。

町としましては、地元企業と常々良好な関係を保ちつつ、安定的かつ継続的に活発な経済活動ができるようサポートし、結果、地元経済、地域社会への貢献を行なっていただけるよう、共存共栄の互恵関係を構築します。

昨年度の「竜王町経済交竜会」

貴多　正幸議員

町民の健康増進に向けた取り組みについて

積極的に取り組んでいきます。

問　教育民生常任委員会の視察研修で訪れた愛知県東海市では、企画部企画政策課にいきいき元気推進担当者を配属し、市の中枢で全職員が市民の健康について計画、実践できる体制を整えておられました。

竜王町においては、庁舎から離れた保健センターを中心にこれまで取り組まれてきたと思いますが、課を超えた企画の立案やそれの実践、また、職員が同じ目的意識を持つことが重要であると考えますが、それらについて町長の所見を伺う。

答　本町の第五次竜王町総合計画は人口減に歯止めをかけ、人口増へ向かえるまちづくり施策が柱となっていますが、これは町の皆さんが健康であることに支えられてのことでありますので、人に焦点をあてるという表現は人の健康づくりに重きをなすものがあるとも認識しています。

竜王町で誕生され竜王町で一生を終えられる、それぞれの年代に応じ町民お一人おひとりの町内でお過ごしいただく人生の質が高められる健康づくりの仕組みを考えて行かねばなりません。

今、横断的な取り組みと言う表現がよく使われますが、本町にあって、健康推進課が町の皆さんの健康づくりの先頭に立たねばならないことは言うまでもありませんが、本町の持てる力、組織、そして自治会、学校等をすべて集結してまちづくりの柱としていく仕組みを樹立していくことが必要と考えています。

町の皆さんの健康増進、健康寿命の延伸は、本町におきましても重要かつ喫緊の課題と受け止めておりますことから、行政といたしましても各課が住民の健康づくりという視点をもって各行政分野において取り組みができるように、職員で構成する健康対策の推進に特化した組織として、たとえば健康対策推進本部などの設置を検討して、積極的に取り組んでまいります。

特定保健指導　集団教室の様子

山田　義明議員

定住促進について

町内2～3カ所に住宅建設可能地の確保に努めます。

問　この2年間で500人強の人口減少となっている。総合計画の3年目を迎えるに当たり、人口減少を喰い止め増加を図るための対策や、町の魅力を発信させる努力、活力みなぎるまちづくり等について伺う。

答　平成24年度は、町内2カ所において新しい住宅建設可能地の確保のため地権者および地元の意向を伺いました。平成25年度は大手企業へも計画を示し、連携を図りつつ具体的な実施に向けて進めていきます。

庁舎周辺タウンセンターエリアにおける住宅地の確保については、関係法令等、難しい課題もある中で、課題解決に向けた調査経費を見込みながら、実現に向けて努力してまいります。

また住宅のリフォームに対する助成や民間活力による保育所の整備などで定住促進に向けて魅力ある施策の実施と情報発信に努めます。

人口減少に対しては地域コミュニティの持続に向けての意識醸成が必要であると考えられ、行政としての誘導に努めます。

福井県永平寺町の地区計画事業地

内山　英作議員

竜王町地域福祉計画について

重点プロジェクトの早期実現に向けて取り組みます。

問　竜王町地域福祉計画について以下の点について伺う。

①地域福祉計画の特色、独自性について。

②平成25年度町予算にどのような形で計上され、また、新規の取り組みは何か。

③年度別の進行管理と実施評価は、どのような方法でしていくのか。

④竜王町地域福祉活動計画との関係について。

⑤本計画の住民への周知と計画実施の呼びかけの方法について。

答　①竜王町地域福祉計画は、策定委員会委員で竜王町のこれからの地域福祉のあり方について真剣な議論をしていただきました。計画の中の「見守られ上手、助けられ上手になる」という文面に、竜王町独自の考え方が表れており、計画策定の考え方の基本にもなっています。

②平成25年度町予算には、これまでの事業を継続、また充実する方向で取り組むための予算計上をしております。

③地域福祉に関する事業の評価、新たな地域福祉のニーズを検討する組織として、既存の竜王町福祉保健推進協議会を活用します。

④社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」とは、それぞれの計画策定に職員がお互いに委員として参加、連携を図っております。

⑤住民への本計画の周知は、概要版を全戸配布する予定です。

竜王町の地域福祉の拠点（竜王町福祉ステーション）

西村　公作議員

三井アウトレットパークと竜王町の観光振興について

特典を付与したサービスで誘客を図ります。

問　平成22年7月に三井アウトレットパークがオープンし、竜王インター周辺は一気に都会化したような景色となり、集客人数は年間400万人を超えると聞いている。今年はその増床計画が実施され店舗数は約230店舗となり、さらに集客人数は増えると予想される。

そこで、アウトレットに来られたお客さんを何とかして町内のアグリパークや道の駅竜王かがみの里、さらには観光農園等を訪れていただけるような対策がとれないか伺う。

答　三井アウトレットの来訪者アンケート調査によると、買い物以外にも目的を持って訪れる人は総来訪者の2割ぐらいということです。少なくとも80～90万人の市場があると考えられます。町としても、町観光協会や東近江観光振興協議会などと連携し、アウトレット内で観光キャンペーンの実施や観光PRポスターの掲示、観光チラシの設置を実施しています。

また3月から11月までの第2、第4土曜日には地元新鮮野菜や果物を中心に「竜王まるしぇ」として対面販売を実施し、加工品も取り揃えて販売しています。

今後は、年間およそ270台のアウトレットへの観光バス利用者に、道の駅竜王かがみの里やアグリパーク竜王での特典を付与したサービスを展開することで誘客が図れるよう協議を進めていきます。

三井アウトレットパーク滋賀竜王

岡山　富男議員

安全・安心なまちづくりに向けて日野消防署南出張所を竜王出張所に

竜王町内の場所を早急に検討します。

問　去る3月1日の東近江行政組合定例会において、管理者から「日野消防署南出張所は2年以内に竜王町内に移設し建て替え計画を考えています」との発言があった。町長は、この発言に対してどのように感じとられたのか伺う。

答　3月1日の東近江行政組合議会定例会以後、管理者（近江八幡市長）から町長に直接「早く場所を決めるようにしましょう」と発言をいただいたところです。

東近江行政組合として消防車、救急車の延べ走行距離が一番少なくなるのが平準化の重要な条件と理解しています。場所につきましては、これからのことを考えて早急に検討する機関等を立ち上げて決めるようにしていきます。

現在の日野消防署南出張所

竹山　兵司議員

アグリパーク竜王の駐車場等について

引き続き拡張を図ってまいります。

問　アグリパーク竜王では、観光客が年ごとに増加している。来園されるお客様の駐車場が満車となり、観光果樹園は駐車場確保に頭を痛められている。今後の対策等について伺う。

答　平成8年度に開設しましたアグリパーク竜王は、4月から11月までの長期間の収穫体験が楽しめる体験型の農林公園として、県内外から多くの来訪者があり、平成24年には53万人の来訪者となり、町内にあります道の駅竜王かがみの里に次いで、大きな集客施設となっております。

現在、アグリパーク竜王には、普通車111台、バス3台の駐車場を整備しておりますが、体験型の観光地でもありますことから滞在時間が長く、繁忙期の週末等になりますと果物狩りの受付や園内散策のお客様による車で駐車場が満車状態となることがあります。このような時には、事前に地元自治会や近隣農園のご協力をいただき、地域の広場や農園敷地の一部を借りて対応している状況であります。今日まで駐車場を拡張するための話を地元地権者に行ってきましたが、拡張には至っておりません。引き続き拡張に向け対応を図ってまいります。

アグリパーク竜王の駐車場

竜王町議会広報

■発行・竜王町議会
■編集・議会広報特別委員会

〒520−2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3
☎（0748）58−3713

こんな質問もしました

小森重剛議員

問 竜王町地域情報・防災情報システムの構築について

答 災害などでは、「一番ほしいものは情報」といわれるように、住民に等しく、確実に素早く情報が伝達でき、享受できる情報に格差が生じることのないよう、より有効な地域防災情報システムの具現化に向け、取り組んでいきます。

同時に、誰もが利用しやすく、必要とする情報が得られる情報基盤の整備を目指します。

古株克彦議員

問 希望が丘団地の下水道整備について

答 団地内道路は当時の開発企業名義で、当該企業は平成元年に解散しています。

平成24年に当時2名の清算人とは面談しましたが、現在の清算人については所在が確認できず、裁判所において新たに選任する方法等、顧問弁護士と相談しています。

西村公作議員

問 町民の健康推進への取り組みについて

答 平成16年度に策定した「健康いきいき竜王21プラン」は平成24年度が最終年度で、目標数値や取り組み事業について評価をし、全体では58・9％が改善したという成果でした。

また平成22年度に食育推進計画を策定し「早寝、早起き、朝ご飯」の全国的な取り組みを推進し、子どもから大人までしっかり朝食を食べる取り組みをしました。

岡山富男議員

問 地域支援における障がい者の福祉と教育

答 ふれあい相談発達支援センターの機能を十分に生かし、可能な限り早期からの就学相談、教育相談の対応、生活や学習上の困難を改善または克服するために必要な教育的支援をしていきます。

竹山兵司議員

問 竜王インターチェンジの南側からの高速道路出入口の設置等について

答 将来の竜王インターチェンジ周辺の地域振興、開発構想に向けて、南口の開設等を含めインターチェンジのさらなる機能強化は、大切な課題と感じているところです。

引き続き調査・研究を進めてまいります。

シリーズ いきいき人生

橋本在住 福山 勇（ふくやま いさむ）さん

私は、56歳で会社を早期退職し、専業農家への道を選び4年目に入りました。

兼業農家の長男に生まれ、後継ぎとして農業をする漠然とした覚悟はありましたが、諸先輩方の『百姓は毎年が勉強だ』との言葉が解らないままの片手間作業の休日農家でした。そのため、サラリーマンから専業農家に舵を切ったときに農業大学校で1年間勉強し、従来からの稲作とビニールハウスでのイチゴとイチジク、少しの露地野菜を栽培しています。イチゴ、イチジクともに昨年に初めて収穫出荷できた新米農家です。

失敗しては落ち込み、うまくいけば喜ぶ毎日の連続でした。物を育て収穫し出荷する難しさや、日々の作業に怠けは禁物なことを知りました。

一年目の無我夢中状態から二年目は少し周りが見えてきた感じですが、収穫の喜びを感じつつ病気にオロオロ、害虫にドッキリしながらの作業が続いています。

イチジクのハウス栽培は竜王町では先輩がおられず、他市町のハウスを見学したり、東近江農業農村振興事務所の指導を受けながらの試行錯誤の連続です。これから夏の収穫に向かってイチゴ同様に発芽を確認しながら病気と害虫探しに奮闘しています。

お客様に喜んでもらえる野菜栽培を目指し、諸先輩方が作り確立された栽培マニュアルを守り継続しながら自分自身の工夫を見つけていけるように、安全、安心、品質第一を基本に知識を得、経験を重ね栽培技術の向上を目指しています。

編集後記

新緑がひときわ映える好季節を迎えました。

平成25年度の予算規模は、例年にない大型予算となりました。

長年の懸案事項であった、岡屋工業団地の造成や企業誘致の推進に向けた取り組みが進められようとしています。

議会におきましても新年度予算が成立し、心新たに議会改革も含め議会活動に取り組んでまいりますので、町民皆様方のご理解とご高配を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

新議会広報特別委員会
委員長 内山 英作
副委員長 山田 義明
委員 小森 重剛
貴多 正幸
菱田 三男
蔵口嘉寿男